

## 住居の会 30 周年記念シンポジウム

### part4. 安心をつくる「耐震・省エネ・バリアフリー」

## de これからの住まいづくり を考える

超高齢社会を迎える我が国で、また大震災が発生し甚大な被害が出てしまいました。  
耐震性を確保しながらバリアフリー化を推進、さらに、環境共生型で居住性や利便性を向上させる…  
誰もが安心して住み続けることのできる住まいが不可欠となっています。

各分野を専門とされる方々が集結！目からウロコの暮らしの知恵が満載です！

平成 29 年 1 月 21 日(土)

午後 1:30～

新泉山館 1 階

大会議室

主催 住居の会

申込み締切：平成 29 年 1 月 13 日(金)

特別記念講演(入場無料)

コーディネーター 片岡泰子

(16 回生)



## 「つくる・つなぐ・つどう…そしてひろがる」

2025 年には団塊の世代が後期高齢者となります。東京では高齢者施設も不足し、地方への移住が提言されています。しかし、多くの人が住み慣れた我が家に住み続けたいと願っています。

〈第一部〉井上恵子氏には『大震災・大災害に強い家づくり、家選び』と題し、過去の大地震を振り返り「住まいの耐震性の大切さ」を学び、地震に強い家の見分け方(戸建て編・マンション編)や、家庭でできる減災・防災対策などを伺います。

篠節子氏には『お財布にも地球にも優しい省エネ』と題し、資源やエネルギーを有効に使い、地球環境への負担を努めて少なくし、そのことによって私たちの子孫に「健全な環境を残してゆくこと」の重要性、環境と共生した省エネの住まいと住まい方を伺います。

吉田紗栄子氏には『いつまでも健やかに暮らすための住まいづくり』と題し、加齢に伴う心身の変化や家族構成の変化に対応でき、安心して暮らし続けることのできる超高齢社会の住まいづくりについて伺います。

三講師のご講演に学び、

〈第二部〉パネルディスカッションでは、コーディネーターとして、半世紀近く一貫して木造建築に関わり、現在 NPO 木の建築フォーラムで木の良さと可能性の普及に努めていらっしゃる片岡泰子氏をお迎えして、**これからの住まいづくり**を考えます。

パネリスト  
吉田紗栄子

(16 回生)



パネリスト  
篠節子

(24 回生)



パネリスト  
井上恵子

(39 回生)



NPO 法人 高齢社会の住まいをつくる会

2001 年設立、現理事長

1964 年東京パラリンピックに語学奉仕団の一員として参加。以来、身体障害者・高齢者と建築の関わりをテーマに設計に従事。セミナーや見学会、出版や取材を通じた広報啓発等を通じて「新・バリアフリー宣言」発表、「バリアフリーの考え方」提言、高齢期になっても安心して住み続けるための住まいの普及活動に従事。



2013 年 住まいづくりの新ルール「新・バリアフリー15ヶ条」制作  
2016 年 継続的活動が評価され第 17 回 住居の会奨励賞受賞

篠計画工房 主宰

専攻建築士、東京建築士会理事、日本建築士会連合会環境部会副部会長 日本建築家協会環境会議伝統 RU 他 省エネ講習会・セミナーの講師、伝統的木造住宅と省エネについて調査研究に従事。持続可能なまちづくりに関わっている。執筆「建築士会技術研修テキスト建築環境篇」「地球とつながる暮らしのデザイン」他



2016 年竣工  
地域の力を活かした木造保育園  
(熊本県水俣市 わかたけ保育園)

住まいのアトリエ井上一級建築士事務所 主宰

日本女子大学通信教育課程非常勤講師、設計業務と並行し一般の方向けに住まいに関する情報を新聞、雑誌、web サイトなどで発信中。

著書「大震災・大災害に強い家づくり、家選び」(朝日新聞出版)

「住宅リフォーム計画」(共著・学芸出版社)



2006 年  
「小さな木造の保育園」設計で第 9 回 住居の会奨励賞受賞

◆ 申込み方法…参加ご希望の方は住居の会ホームページ <https://jyukyo.net> をご覧ください。問合せ先 090-9136-9998 企画